

令和4年第11回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和4年12月15日（木曜日）		開会	9:54		会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	10:58					
委員の出欠		1 番	宮越 正人	出席	5 番	外山 浩司	出席	9 番	今西 和雄	出席
		11 番	瀧川 榮子	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉部次長		福祉部次長兼保健センター長		福祉部次長兼福祉課長		
		今野 健一	出席	小湊 昌博	欠席	入倉 伸顕	出席	干場みゆき	出席	
		介護支援課長		町民課長		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長		
		高橋 勇樹	出席	皆川 学	出席	渡辺 久利	出席	堀 留美	欠席	
		地域包括支援センター長		居宅介護支援事業所長		町民課主幹		保健課主幹		
		九里 富恵	欠席	大道 詳子	欠席	西田 和弘	欠席	齊藤 晴美	出席	
		保健課主幹		母子健康センター師長		福祉課主査		福祉課主査		
		畠澤 みどり	欠席	根本 博美	欠席	澤田 憲一	出席	大森 晴海	欠席	
		介護支援課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		町民課主査		
		岩口 真紀子	欠席	松本 静香	欠席	井川 仁	欠席	奈良 司	出席	
		町民課主査		町民課主査		保健課主査		保健課主査		
		竹本 誠	欠席	木幡 友哉	欠席	阿部 妃江子	欠席	能登 麻奈美	欠席	
		保健課主査		母子健康センター主査		老人保健施設主査				
		佐伯 祐司	欠席	成瀬 広子	欠席	中田 幸規	欠席			
	別海 病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課長		病院事務課主幹		
		三戸 俊人	出席	小川 信明	出席	石戸谷友絵	出席	大森 圭介	出席	
委員外の出席							合計	0名		
事務局職員		主任	小野 絵里				合計	1名		
傍聴者数		一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

令和4年第11回福祉医療常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 9番 今西	9:54 開会
	出席委員5名、委員外0名、会期1日
委員長 9番 今西	挨拶
	【病院所管事務調査】
病院事務長 三戸	挨拶
委員長 9番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1)新型コロナウイルス感染症対策について
病院事務長 三戸	・感染者の増加に伴い、11月14日から北海道の病床フェーズが3に引き上げられた。また、別海病院では11月8日からコロナ病床を3床から7床に増床した。
	11月は延べ6名がコロナ病床に入院し、現在の入院者は3名。12月14日現在の別海町の感染者は62名となっている。なお、の中には簡易検査キットで陽性が判明し、陽性者登録センターへ自ら登録をした方は含まれていない。
	別海病院においても、11月は院長を含め職員5名、入院患者1名が感染し、院長不在の間は内科外来の縮小、また、コロナ病床に最大で4名が入院され、内科医が1名という状況となりコロナ病床への入院制限等も行った。これにより町民の皆さんには大変ご迷惑をおかけした。
	今回の感染者については、家庭内での感染とともに、感染地域や感染の要因となる場所が分散し、感染者の年齢層も幼児から高齢者までと幅広くなっているが、特に幼児から小学生がいる家庭での感染が拡大した印象がある。
	現在も感染者が発生している状況であり、別海病院では平日だけでなく土日祝日も発熱外来を継続して行っている。
	これまでもお話してきたとおり、重症化する患者は少ないが、1月からの別海病院への入院者は約30名となっている。陽性にもかかわらず無症状の方も多く見受けられ、感染者の大部分の方はこれまで同様、自宅療養となっている。
	別海町における感染者については、年明け1月6日から12月14日までに延べ2,140名の方が感染者となっている。
	別海病院においては、5月以降クラスターには至っていないが、現在も発熱外来を継続して行っているため、医師、看護師、検査技師等の勤務状況は非常に厳しい状況が続いている。
	12月に入っても感染者が継続して発生しているため、引き続き当院においても、感染者への治療と感染拡大の抑制に努めるとともに、状況を適宜判断し中標津保健所、他の医療機関等を連携しながら対応を行っていく。
委員長 9番 今西	質疑
委員 11番 瀧川	・院長が感染された際、出張医を置くなど体制の強化は行ったのか。
病院事務長 三戸	・内科外来は出張医での対応は間に合わなかった。内科の診療のみなら可能だが、発熱外来までをお願いするのは難しく、結果的に内科外来を午前中のみもしくは休診とする形で対応した。
副委員長 5番 外山	①感染して別海病院を受診された幼児の中で、高熱の症状はどの程度出ているか。
	②たまに夜間診療で病院に行くことがあるが、多くの職員が残業されている。残業時間には上限があると思うが、オーバーワークになっていないか。
病院事務長 三戸	①お子さんはコロナではなくても大人と比較して高熱が出る割合が高いが、コロナの場合は顕著に高熱が出て、それをきっかけに受診される方が多い。総体的に見て重篤な症状は見られない。

令和4年第11回福祉医療常任委員会 要点記録

	②ここ3年ほど通常業務に加えて、コロナへの対応が続いている。事務職に限らず、医師・看護師等も通常どりの勤務時間で業務をこなすことが難しくなっている。ただ、超勤時間等については、4月に異動等があり時間がかなりオーバーした職員もいたが、全てが改善されたわけではないが、今のところ法に抵触するようなオーバーワークには至っていない状況にはある。我々管理職としても、その辺りは是正しなくてはいけないと思っている。
委員 1番 宮越	・感染の傾向として、幼児・児童がいる家庭から感染が広まっているといった話があったが、看護師含む病院職員の中には小さいお子さんがいる方も少なくない。その感染状況はどうなっているか。
病院事務長 三戸	・11月の院内の感染者で院長以外は家庭に幼～中学生の子供がおり、初めは子供が感染し濃厚接触者となり、その後発症するパターンが非常に多かった。現在も職員で3名感染者がいるが、それも同じパターンで感染している。
委員 1番 宮越	・その場合、看護師が出勤停止となり人数が少なくなっても、病院は通常どおり止まらず回っているが、それは少ない人数のままで回しているのか。それともO B等に依頼するなど手立てなどあるのか。
病院事務長 三戸	・ワクチン接種についてはO Bの方等に手伝っていただいている。それだけでも総体の人数は動かせるのでだいぶメリットにはなっている。それらも含めて、人員が足りない場合には、基本的にやりくりで対応しているのが現状である。
委員長 9番 今西	・他に質疑あるか。
委員 一同	・質疑なし
委員長 9番 今西	その他
病院事務長 三戸	①医師確保の状況について ・水谷内科医が6月に退職され、その後院長の出身校である札幌医大に派遣依頼、6-7月には副町長とともに道、道医療財団、全国自治体病院協議会等に協力要請を行ったところ。また、9月には札幌医大消化器内科の仲瀬教授と町長が面会し、医師募集について再度協力要請を行った。 今時点では、後任の医師は決まっていない。常勤の医師を決めるのは難しいが、待たなしで病院は動いているので、ワクチン接種では外部の医師に来ていただいており、5月からは当直医の部分で月3-4回ほど民間活用している。活用できるものは活用し、なるべく医師の勤務負担を軽減し、それと並行して、そのような環境下で常勤医師が来てくれば一番かと思うがなかなか難しい。できる範囲のことは対応していきたい。
委員長 9番 今西	・日程表に記載の所管事務は継続調査とする。
委員 一同	・異議なし
委員長 9番 今西	病院 10:15 終了 休憩
	10:21再開 挨拶 【福祉部所管事務調査】
福祉部長 今野	挨拶
	・10月28日に新型コロナウイルスワクチン追加接種の集団接種会場において、誤接種の事案が発生したことについて、ご迷惑とご心配をおかけした。 本案件については、11月22日に全議員に周知するとともに、町ホームページ・SNSで公表している。 概要としては、初回接種を実施した4名のうち1名の方へ、初回接種では認められていないオミクロン株対応ワクチンを誤って接種したものの。原因としては、初回接種とオミクロン株を同時に実施するため、注射器を別々のトレーで保管していたが、同じテーブルの上においていたため、誤ってオミクロン株ワクチンを接種したものです。

令和4年第11回福祉医療常任委員会 要点記録

接種を受けた4名の方に接種後の副反応は認められるものの、健康被害等は確認されていない。

今後の対応として、初回接種とオミクロン株接種を別々の部屋で実施することとする。再発防止に万全を期していきたい。

議事1 所管事務調査について

(1)新型コロナウイルス感染症対策について

・資料により説明

・接種状況について（12月11日現在）

1回目接種 12,509人 92.4%

2回目接種 12,468人 92.1%

3回目接種 10,609人 78.4%

4回目接種

65歳以上 3,400人 77.7%

60～64歳 649人 62.6%

59歳以下 751人

※59歳以下は基礎疾患を有する方・医療従事者等が対象

オミクロン株対応ワクチン接種 5,758人 42.5%

※オミクロン株対応ワクチン接種率

町 42.5%、道 26.6%、全国 26.4%

【小児接種】

1回目接種 444人 51.0%

2回目接種 435人 49.9%

3回目接種 173人 19.9% （10月18日～）

※小児接種 全国接種率

1回目 23.4%、2回目 22.3%、3回目 6.5%

・オミクロン株対応ワクチン接種に係る接種券の発送状況

これまでに全体で11,401通の接種券を発送済み。11月18日をもって接種券発送を終了した。

・乳幼児（生後6カ月から4歳）の接種について、12月20日から開始する。対象人数は439名、接種券は12月7日に発送済みで、現時点で29名の予約が入っている。

保健センター長

入倉

委員長

9番

今西

委員

1番

宮越

保健センター長

入倉

福祉部長

今野

委員長

9番

今西

委員

一同

委員長

9番

今西

福祉課主査

澤田

委員長

9番

今西

副委員長

5番

外山

質疑

・ワクチンを数回接種していても感染する事例があると思うが、その件について、国や道から調査依頼はないのか。

・国や道から調査は来っていない。

・接種された方、感染された方の情報は非公表となっているため、調査のしようがないというのが実態かと思う。

・他に質疑あるか。

・質疑なし

(2)要保護世帯除雪事業の状況について

・資料により説明

質疑

①市街地の除雪について、例えば中春別地区では除雪をしてくれる団体等があるが、それ以外の地区で任意の団体により実施しているところはあるのか。

②他の自治体では社協や町内会を活用しているところもあると聞いている。町ではそのような他の団体と連携した取組はしていないのか。また、今後実施する計画などはあるか。

令和4年第11回福祉医療常任委員会 要点記録

福祉課主査	澤田	①別海季節労働組合が市街地の除雪を行っており、それぞれの地区に居住する組合員ががその地区の市街地の除雪を行っている。また、組合員が居住していない地区については、他の地区から組合員が現地に赴き除雪を行っている。
福祉課長	干場	②地域柄、団体が1団体しかないということもあり、社会福祉協議会との協議もしたが、実務的に困難であるとお話を伺っている。そのため、今は町で実施しているというのが現状である。
副委員長	5番 外山	・中西別地区からも要望があったかと思うが、その辺り福祉部は関わっていないのか。
福祉課主査	澤田	
		・この除雪事業は、特に地域限定せずに実施している。組合員がいない地区には、他の地区から組合員が赴いて除雪を行っている。
副委員長	5番 外山	
福祉課長	干場	・町内会との協議は行っているか。
		・社会福祉協議会との協議の際に、別海連合町内会の方とも話をさせていただいたが、現在、会員数の減少・高齢化により町内会の活動自体が厳しい中、新しい事業を実施するのは非常に難しいとの話は担当者レベルではあるが伺っている。自発的に町内会で個人的に「お助けチーム」などを開設して実施しているところもあるので、その動きを活発化することを推進していくようお願いしていきたい。このような現状から、社会福祉協議会や町内会に事業を依頼するところまで踏み込めていない。
委員長	9番 今西	
		・今後、大きな課題となってくる部分かと思う。今回の一般質問の回答では、除雪の仕組みづくりについて検討していくとの回答もあった。この要保護世帯の除雪については、若干趣旨は違うが、目的は一緒かと思うので、今後検討する仕組みの中に組み込んでほしいと考えているが、福祉部としてどのような考えを持っているか。
福祉部長	今野	
		・要保護世帯の除雪事業については点数制で対象者が決まる形であるが、今回一般質問であった協働での除雪とは切り離さず、町全体で連携して進めていく必要があると考えている。
委員長	9番 今西	
委員	一同	・他に質疑あるか。
委員長	9番 今西	
		・質疑なし
町民課主査	奈良	その他
		①マイナンバーカードの普及促進について
委員長	9番 今西	
委員	一同	・資料により説明
委員長	9番 今西	
		・普及促進に係る取組状況、実績
		本庁舎特設窓口の設置や支所・出張所、公民館、大型店舗、企業等において出張窓口を設置。
		申請 668名、交付 164名、ポイント付与等 114名 計 946名
		・マイナンバーカード交付率
		R4.3月末 29.9% → R4.11月末 46.5% 16.6%増
		・マイナポイントの付与が終了することに伴い、1月以降新規申請者へ1,000円分の商品券を配布する事業を12月補正に計上している。
		・日程表に記載の所管事務は継続調査とする。
		・異議なし
		閉会挨拶
		10:58 閉会